

令和8年 第3回 奄美市議会定例会 一般質問

9月7日(月)

1	栄 ヤスエ	(公明党)	9 : 30 ~ 10 : 30
2	朝木 一仁	(チャレンジ奄美)	10 : 45 ~ 11 : 45
3	幸多 拓磨	(無所属)	13 : 30 ~ 14 : 30
4	大庭 梨香	(公明党)	14 : 45 ~ 15 : 45
5	与 勝広	(公明党)	16 : 00 ~ 17 : 00

9月8日(火)

1	永田 清裕	(自民党新政会)	9 : 30 ~ 10 : 30
2	奥 輝人	(無所属)	10 : 45 ~ 11 : 45
3	盛 剛	(無所属)	13 : 30 ~ 14 : 30
4	叶 幸治	(公明党)	14 : 45 ~ 15 : 45

9月9日(水)

1	帶屋 誠二	(無所属)	9 : 30 ~ 10 : 30
2	竹山 耕平	(自民党新政会)	10 : 45 ~ 11 : 45
3	西 忠男	(参政党)	13 : 30 ~ 14 : 30
4	正野 卓矢	(チャレンジ奄美)	14 : 45 ~ 15 : 45

9月10日(木)

1	奥 晃郎	(自民党新政会)	9 : 30 ~ 10 : 30
2	崎田 信正	(日本共産党)	10 : 45 ~ 11 : 45
3	泉 義昭	(無所属)	13 : 30 ~ 14 : 30
4	瀧 真一郎	(無所属)	14 : 45 ~ 15 : 45

※ 時間については予定です。

先の質問者の終了状況によっては、時間が早まることもございます。

令和 8 年第 3 回定例会一般質問通告

9 月 7 日（月）

◎公明党 栄 ヤスエ

1 市民生活について

（１）奄美市議会政策提言 1：逃げ場所を整える

「いつでも、誰でも、安心して逃げ込める避難所へ」本市の考えについて

- ①本市は現在の指定避難所の環境についてどのような課題があると認識しているか お示してください
- ②夏場の避難所となるエアコン未設置の学校体育館等への認識をお示してください
- ③避難所を設置するにあたり、機材の配置、避難所運営について等の訓練が必要と考えるが本市の考えをお示してください
- ④台風 13 号で停電が長引いた地域の避難生活についてどのように認識しているかお示してください

（２）本市における受援計画について

- ①本市では、災害時に応援職員を受ける際に、どの業務に何人必要かを判断・応援を要請、到着した職員を市民の支援に直ちに配置できる体制になっているかお示してください

（３）県で進められている（＃ 7 1 1 9）の導入について

＃ 7 1 1 9 は全国で導入が進み、救急医療の適正医療や住民の安心につながる制度として位置付けられています。

- ①大島地区消防組合における、救急車の出動実績をお示してください
- ②観光客の増加、外国人客や在住者も増えているが 1 1 9 通報の現状をお示してください
- ③救急車の適正利用について、課題についてお示してください
- ④＃ 7 1 1 9 導入にあたり、本市としてどのように捉えているかお示してください

（４）照明 L E D 化計画について

蛍光灯の 2 0 2 7 年問題として「水銀に関する水俣条約」に基づき、2 0 2 7 年末までに全ての一般照明用蛍光灯の製造・輸出が禁止されます。水銀を含む蛍光灯製造等の規制を受け、蛍光灯から L E D 照明への転換が急がれています。

- ①本市の対象となる照明機器の数をお示してください
- ②今後の L E D 照明転換への計画をお示してください

◎チャレンジ奄美 朝木 一仁

1 教育行政について

(1) 国際理解教育について

- ①本市の教育大綱及び教育基本計画における「国際理解教育」の認識と方向性について
- ②現在の取組状況について
- ③実践的な取組について

2 笠利版地域創生戦略について

(1) 住民実感調査アンケートについて

- ①結果を受けた本市の認識について
- ②今後の取り扱いについて
- ③未利用施設の現状と今後の方向性について

3 防災行政について

(1) 有事や災害時の支援について

- ①家庭用ポータブル発電機の購入助成について
- ②市内ホテル事業者との入浴支援連携について

4 観光行政について

(1) クルーズ船対応について

- ①寄港時の二次交通について
- ②地域一体となった対応について

◎無所属 幸多 拓磨

1 防災・危機管理行政について

(1) 台風13号について

- ①台風13号による人的被害、家屋、道路等の被害状況及び現時点で把握している被害額についてお示しください。
- ②被災した市民及び事業者等に対し、市としてどのような支援を行っているのか。また、今後予定している支援についてお示しください。
- ③台風13号に伴い開設した避難所について、開設箇所数、避難者数、延べ避難者数及び配置した職員数をお示しください。また、今回の避難状況を市はどのように分析・評価しているのかお示しください。
- ④今回開設した避難所の空調設備及び非常用電源等の整備状況についてお示しください。また、今回の台風13号を踏まえ、避難所の環境や指定避難所のあり方について検証・見直しを行う考えはないかお示しください。
- ⑤台風通過後、避難所を閉鎖した後も停電が長期化した地域があった。停

電戸数、停電が長期化した地域、最長の停電期間及び原因について、市が把握している範囲でお示してください。また、長期停電が続く場合、電気や空調設備等が使用できる施設を避難所として継続して開設する考えはないかお示してください。

⑥長期停電に伴う冷蔵・冷凍食品の廃棄など、市民生活や事業活動への二次的な被害について、市はどのように把握しているのか。また、長時間停電への備えとして、市民や自治会等による発電機、蓄電池、ポータブル電源等の導入支援及び発電機の安全な使用方法の周知を行う考えはないかお示してください。

⑦台風や線状降水帯等による豪雨災害に対し、現在どのような対策を講じているのか。また、今回の台風13号を踏まえ、新たに必要と認識した対策についてお示してください。

2 福祉行政について

(1) 土日祝日及び夜間における子どもの預かり支援について

①現在、市内において、土日祝日及び夜間に子どもを預けることのできる施設やサービスはそれぞれ何ヶ所あるのか。昼間と夜間に分け、対象年齢、利用可能時間及び利用料金についてお示してください。

②土日祝日及び夜間に子どもの預かりを担う事業者等に対し、市は現在どのような支援を行っているのかお示してください。

③土日祝日及び夜間に働く保護者の子育てと就労を支える観点から、利用者の負担軽減及び子どもの預かりを担う事業者等への支援を拡充する考えはないか お示してください。

◎公明党 大庭 梨香

1 防災対策について

(1) 台風13号の被害状況と今後の防災対策について

①住用町における被害状況について伺う。

(ア) 人的被害（住居等含む）

(イ) 農林水産業被害（被害額）

(ウ) 民間・公共施設等被害（被害額）

(エ) インフラ被害（道路、水道等ライフライン、通信）

(オ) 住用地区の停電における上下水道の状況について、どのような対応をしたのか。

(カ) その他被害状況

②三太郎の里前の国道58号線における被害状況と冠水の経緯について伺う。また、令和2年度から5年度に国道58号線のかさ上げ工事が行わ

れていることを踏まえ、今回の冠水をどのように検証し、今後の浸水・冠水対策に繋げていくのか。

③台風等による長時間停電に備えた市民への周知・啓発について伺う。

停電時の備えや非常用電源の確保などについて、平時から市民に対してどのような情報提供・広報を行っているのか。また、今後どのような周知・啓発を行っているのか。

④停電対策として家庭用発電機等の購入に対する助成制度を創設する考えを伺う。

災害時の電源確保は、市民生活を維持するうえで重要である。家庭用発電機等の購入に対する助成制度を創設する考えはないか。

⑤在宅療養者や高齢者や子育て世代へ具体的な支援をしているか伺う。

長時間の停電や断水等が発生した場合、特に支援が必要となる在宅療養者、高齢者、乳幼児のいる子育て世代等をどのように把握し、支援するのか。

⑥避難所での生活が困難な高齢者、障がいのある方、乳幼児世帯等について、ホテル等を活用した避難支援を制度化する考えはないか伺う。

避難所での生活が困難な高齢者、乳幼児世帯等について、ホテル等を活用した避難を選択肢の一つとして位置づけ、宿泊費等を支援する制度を検討する考えはないか。

⑦今回の台風13号を踏まえた今後の防災対策について伺う。

2 通学路交通安全対策について

(1) 奄美市通学路交通安全推進会議について

①通学路交通安全プログラムについて伺う。

策定内容と構成団体と主な活動について

②通学路合同点検について伺う。

合同点検の実施状況及び具体的な点検内容について

③点検箇所の選定は、どのように決めているか伺う。

危険箇所をどのような基準で把握・選定しているのか。また、学校、保護者、地域等から寄せられた情報をどのように反映しているのか。

④点検の状況と成果、課題について伺う。

これまでの点検によって、どのような危険箇所が改善され、どのような成果が得られているか。また、現在の課題は何か。

⑤安全確保をするためにPDCAが行われているか伺う。

点検、対策、検証、改善を継続的に行う仕組みがどのように構築されているのか。

⑥通学路の危険箇所を継続的かつ客観的に把握するため、「通学路点検チェックリスト」を作成・導入する考えを伺う。

通学路の危険箇所を継続的かつ客観的に把握し、点検の基準や見落としの防止につなげるため、「通学路点検チェックリスト」を作成・導入する考えはないか

3 福祉行政について

(1) 障害者手帳をスマホに入れて活用できるミライロIDの活用について

①県内の活用自治体における「ミライロID」の活用状況について伺う。

②「ミライロID」を活用することによる市民の利便性向上について、市はどのように認識しているか伺う。

③障がいのある方の移動や外出時の負担軽減、行政サービス等の利便性向上を図るため、「ミライロID」を奄美市に導入する考えはないか。

④「誰もが自分らしく安心して暮らせるまちづくり」の観点から、デジタル技術を活用した障がい者への支援を今後どのように進めていくのか伺う。

◎公明党 与 勝広

1 市長の政治姿勢について

(1) 人事異動の基本方針

(2) 人事評価制度について

2 第3次財政計画について

(1) 第2次財政計画の総括と第3次財政計画について

3 世界自然遺産登録から5年経過し成果と課題について

(1) 登録後5年間の成果と課題について

(2) 生物多様性と田中一村について

4 環境問題について

(1) 市営永田墓地の現状と今後の対策について

(2) 集落墓地の維持管理と今後の対策について

9月8日（火）

◎自民党新政会 永田 清裕

1 防災・減災対策について

(1) 8月の台風13号の検証と今後の対策について伺う。

(2) 奄美市国民保護計画の策定状況と11月の国民保護訓練について伺う。

2 大島地区消防組合本部庁舎の建て替え計画について

(1) 庁舎建て替えの検討状況について伺う。

- (2) 今後の進め方や整備時期はどのように考えているのか伺う。
- 3 奄美・沖縄の交流連携について
 - (1) 奄美・やんばる広域交流推進協議会について 27年も続く中で、改めて協議会の目的、これまでの交流の実績、今後の期待について伺う。
 - (2) 世界自然遺産登録5周年を迎えて、同じ世界遺産地域としてさらなる奄美・沖縄の交流を深めていく契機である。今年度の実施事業や今後の展開について伺う。
 - (3) 奄美の離島医療の現状において、沖縄の医療機関との連携強化を求める声もあるが、そのことに関する市の見解を伺う。
- 4 スポーツアイランド構想について
 - (1) 奄美市のスポーツ合宿実績（令和5年度～7年度の3年間）について伺う。
 - (2) 合宿地として選ばれている理由や各団体からの要望について伺う。
 - (3) 要望を受けての行政側の支援や対応について伺う。
 - (4) 今後に向けての課題や期待をどのように捉えているのか伺う。

◎無所属 奥 輝人

- 1 奄美市の景観計画について
 - (1) 一般景観区域の基準について
 - ①建築物の高さの基準について
 - ②建築物の場所の基準について
 - ③許可認定後の許可期限について
 - (2) 景観計画推進業務、委託料5,000千円について
 - ①推進業務の内容について
 - ②委託先と委託料5,000千円について
 - ③景観審議会との連携について
 - ④市民の意見の反映について
 - ⑤今後のスケジュールについて
- 2 さとうきび交付金単価の引き上げについて
 - (1) 課題について
 - (2) 砂糖の価格調整制度について
 - (3) 国産糖への支援について
 - (4) 沖縄県との連携について
- 3 フライト農業の推進について
 - (1) 徳之島町の取り組みについて
 - (2) 本島内での取り組みについて

◎無所属 盛 剛

1 市民から受けた相談事について

(1) 公共用地の有効利用について

- ①長浜の教育委員会管理の放置倉庫の老朽化が著しく、そこから発生したシロアリの害があり、対策を考えていただきたい。見解を伺います。合わせて再利用策を問う。
- ②法務局近くの旧港の倉庫跡が老朽化著しく、再利用計画は考えられないか。

(2) プレミアム商品券について

- ①商品券5000円の総財源の収支予算を説明されたい
- ②商品券を全戸に配布出来ない理由は何か。
- ③全戸に行き渡らなかった補完策は実施されたか。
- ④換金期間が弱冠遅くなった。その理由は何か。

(3) 名瀬小学校と体育館の通りにカーブミラーの設置は出来ないか交通量がおおくて危ない。予算措置できるか伺う

2 世界自然遺産登録後の功罪について

(1) 登録後の効果について

- ①上位3項目を示されたい。

(2) 登録後の害について

- ①クロウサギの個体数の増加に伴うロードキル対策が急がれます。講じた施策の代表的な事例を示されたい
- ②西表島では野生動物専用の（アンダーパス）が123箇所もあり、道路の下に動物専用の小路があるということです。奄美でも出来ないか伺う。
- ③オカヤドカリ・希少種等の密猟・盗掘が問題になっています。その対策を伺います。
- ④ドイツでは過去のコンクリート公共物を壊し自然復元する公共事業などが取り入れられています。奄美でも緑の回廊建設など出来ないか伺います。
- ⑤過去 自由に貝拾いやテナガ取りされていたが、現在 貝拾いやテナガ取りが禁止された区域があれば示せ 根拠になる法令等も併せて伺う。

3 奄美大島における国民保護計画について

(1) 計画の全容について

- ①県からの計画は奄美市へ示されているか。市の単独の計画作成進捗状況を伺う。
- ②武力攻撃予測事態化において避難輸送する港はどこか
- ③避難輸送時における船舶会社との連携は万全か

④避難場所は本土のどの市町村を想定しているか。

交渉はされているか合わせて伺う。

⑤避難が間に合わないことも可能性の一つです。緊急避難用に各集落に一つ防空壕、市街地には核シェルターの建設出来ないか伺う。奄振予算で要望出来ないか。

◎公明党 叶 幸治

1 災害に強いまちづくりについて

(1) 災害時におけるライフラインの強靱化について

①災害時による停電にて公共施設・公営住宅への影響について

②公営住宅・避難所・水道施設の非常用電源確保整備について

③奄美版「災害D Xプラットフォーム」の構築について

④ドローン・A Iによる復旧支援について

2 地域環境美化と資源循環の推進について

(1) 市民清掃における廃棄物の収集・処理体制について

①市民清掃の基本的な位置づけについて

②県営住宅の伐採ごみ回収について

(2) 市民清掃の公益性と自治会活動への支援について

①市民清掃における公平性の考え方及び仕組みづくりと支援について

(3) 職員の働き方改革と市民清掃支援の両立について

①市民清掃に係る収集体制の見直しについて

(4) 県営住宅における環境美化及び樹木管理について

①県・市・自治会の役割分担の明確化について

(5) 剪定枝・伐採木等の地域資源化について

①先進地事例をもとに今後の調査・研究について

(6) 新たな名瀬クリーンセンターにおける資源循環・エネルギー利活用について

①持続可能な循環型施設のビジョンがあるか

3 ウォーターP P Pと下水道資源の活用について

(1) ウォーターP P P導入可能性調査の目的と今後の方向性について

①ウォーターP P P導入可能性調査について

②調査結果を踏まえた今後の取り組みについて

③再生可能エネルギー及び下水道資源の活用について

9月9日（水）

◎無所属 帯屋 誠二

1 観光経済について

- (1) 交流人口増加に向けて、奄美市が取り組んでいる施策等について伺う。
- ①修学旅行団体が奄美市を訪れる理由と目的、推移と現状、各学校への対応について伺う。
 - ②鹿児島県の「県内離島教育旅行助成事業」に対する奄美市の今後の取組について伺う。
 - ③修学旅行団体を受け入れる体制づくりについて伺う。

2 環境行政について

- (1) 奄美市の生ごみ処理について伺う。
- ①一般家庭用生ごみ処理機（容器）購入に対する助成金制度を設立する可能性について伺う。

3 都市整備について

- (1) 閉鎖された施設や施設跡地の再利用、ならびに再生計画の有無について伺う。
- ①赤木名幼稚園と赤木名保育園の、今後の利用計画について伺う。

◎自民党新政会 竹山 耕平

1 市長の政治姿勢について

- (1) 航路航空路運賃の値上げ状況負担軽減策へ向けた取り組みについて
- ①値上げ状況の分析、検証及び見解について
 - ②現時点での負担軽減に向けた対応はあるか（市・群島広域）
 - ③奄振交付金の上限を引き上げること（増額）による割引率の引き上げは制度上可能か見解をうかがう
- (2) 今年の台風に伴う各備蓄品及び備蓄倉庫（旧金久中給食室）の管理、運用状況をうかがう
- ①まずは、これまでの指定避難所施設における備蓄品の活用状況。集会場（町内、集落）、公共施設、学校、その他関連する民間施設等含めた活用について（飲食料品、生活必需品、医療品、発電機、その他）
 - ②今年の奄美接近時に伴う備蓄倉庫（旧金久中給食室）の活用状況
 - ③②の成果、効果及び課題等について
 - ④今後の備品倉庫適正管理（維持管理含め）と活用への取り組みと働きかけについて。事業者、国、県、港湾関連事業者との協議会設定など
 - ⑤集落や団体からの要望意見等を議会政策立案推進会議が取りまとめた市への要望事項に対する見解と対応について

※住用各地区、笠利各地区、医師会、あまみFM、知名瀬などから要望
ア．市に要望されている備蓄品管理への対応について。食料、飲料水、

医療品等備蓄充実と点検更新への対応

イ. 備蓄倉庫の整備とコンテナ活用など管理体制の経への対応

(3) 公共施設包括管理業務の運営状況について

- ①業務開始から5か月が経過することから、この間の業務移行の状況と運営状況についてうかがう（市営住宅等、教育施設等）
- ②移行後に台風等自然災害も発生したが、災害対応についてうかがう
- ③市内登録事業所数の進捗について。業種別（指名登録外事業所含め）
- ④課題等はあるか。また、解決に向けての取り組み等について

(4) 子育て・保健・福祉複合施設計画の進捗状況について、実施設計の発注業務委託事業（発注方法、業界へのヒアリング調査、発注時期）

2 教育行政について

(1) コミュニティースクール導入について（学校運営協議会設置）

- ①教育委員会、学校、地域での取り組み状況と見解について
- ②地域学校協働活動の一体的推進の現状と取り組み

◎参政党 西 忠男

1 市長の政治姿勢について

(1) 台風13号の災害や防災について

- ① 市内の避難場所の数と何人程度の避難者がいたのか、また、対応を伺います。
- ② 4日間続いた停電の主な要因と、特に古見地区が復旧になぜ時間を要したか伺う。

(2) 奄美市の少子化対策について

- ① 令和元年から現在までの出生数を伺う。
- ② 奄美版、異次元の少子化対策を考えているか伺います。

(3) あやまる岬公園のソテツジャングル入口にある、看板に現在のソテツシロカイガラムシの被害状況や再生に向けた取り組みを看板に明記して頂けないか伺います。

(4) ソテツシロカイガラムシの被害による葉枯や枯死の件について、国・県・奄美群島12市町村との連携と対策と解決策を伺います。

2 名瀬農業研修センターについて

- (1) パッションフルーツについて伺います。
- (2) かぼちゃについて伺います。
- (3) 実えんどう等について伺います。
- (4) 地場産のハンダマ・冬瓜・ナスビ・ピーマン・さつまいも・について伺います。

- (5) 防風樹（アデク・ソテツ）について伺います。
- (6) 名瀬農業研修センターや使用されていない公共施設を民間に無償で提供し、ソテツの種の保存として、種や子株を奄美の未来の為に育てる事が出来ないか伺います。

◎チャレンジ奄美 正野 卓矢

- 1 防災について
 - (1) 避難所のあるべき姿について
 - ① 避難環境の整備・運営の在り方について
 - ② 電源の確保・通信障害について
 - ③ 防災行政無線の更新 進捗について
- 2 福祉行政について
 - (1) 持続可能な介護サービスについて
 - ① 介護事業所の人材支援について
 - ㊦ 介護人材の確保状況と将来の見通しについて
 - ④ 介護人材不足への対応強化と業務負担軽減について、
 - ㊧ 奄美市主導による、全市的な介護事業所実態調査（人材支援に対する）について
- 3 市民生活について
 - (1) みんなの公園プロジェクトについて
 - ① 成果と今後の取組について
 - ② 対象の拡大について

9月10日（金）

◎自民党新政会 奥 晃郎

- 1 市長の政治姿勢について
 - (1) 国勢調査の速報値の公表を受け市長の感想は
 - (2) 副市長の人口減少対策について
 - (3) 定住促進対策への取組みについて
 - (4) 空き家対策について
 - (5) 地方交付税への影響について
- 2 世界自然遺産登録5年を経過して
 - (1) 奄美大島に訪れる入り込み客の動向について
 - (2) 経済波及効果の試算について
 - (3) アマミノクロウサギの生息数回復に伴う影響について
 - (4) 世界自然遺産登録5年を超えて見えてきた課題とその取組みについて

3 防災対策について

- (1) 新防災気象情報の変更について
- (2) 奄美市の地域防災計画の修正について
- (3) 避難所、福祉避難所のエアコンの設置状況について
- (4) 無電柱化への取組みについて

4 地域住民の声

- (1) 手花部集落の国道沿線の波しぶきの解消について
- (2) 佐仁集落護岸沿いのガードレールについて

◎日本共産党 崎田 信正

1 市長の政治姿勢について

(1) 特定利用空港・港湾について

- ①国が、奄美空港を「特定利用空港・港湾」の候補にしているとのことだが、奄美群島でも2024年8月に徳之島空港、名瀬港、和泊港がすでに指定を受けているが、どのような変化があったのか。

- ②指定による影響についての見解は。

(2) 11月実施予定の島外避難国民保護訓練について

- ①他国からのどのような武力攻撃を想定しているのか。
- ②2024年度に沖永良部、2025年度の徳之島と与論町ではどのような訓練が行われたのか。

(3) 財政調整基金について

- ①高物価、医療・福祉の負担等で厳しい生活を強いられている市民生活を援助するために目標額を上回る財政調整基金を活用できないか。

2 福祉制度について

(1) 生活保護政策について

- ①違法な生活保護減額の補償と周知の進捗状況は。
- ②補償額の総額と一人残らず届けられるか。

(2) 補聴器購入助成制度の早期実現について

- ①補聴器の必要性をどのように認識されているか。
- ②補聴器助成の実績は。

3 教育行政について

(1) 就学援助制度の完全実施について

- ①完全実施できていない現状の見解は。
- ②子どもの貧困率とその要因は。

◎無所属 泉 義昭

- 1 台風災害の対応について
 - (1) 食料品等の対応
 - (2) 災害時の備蓄品の対応
 - (3) 情報発信の共有化（組織強化）
 - (4) 災害等のゴミ処理
 - (5) 停電復旧作業対応
- 2 公益財団法人営農研修センターの取り組みについて
 - (1) 施設等の稼働・管理について
 - ①研修生募集要綱
 - ②施設稼働率
 - ③研修後の新規就農事業支援の活用
- 3 高齢者物価高騰対策支援について
 - (1) 高齢者冷暖房支援
 - (2) 高齢者（一人暮らし）巡回対応
- 4 戦没者追悼式について
 - (1) 戦没者慰霊祭の取り組み
- 5 奄美市中学生ひかり議会について
 - (1) 質問内容の対応について

◎無所属 瀧 真一郎

- 1 本市の総合的な交通・道路施策について
 - (1) 奄美市交通安全計画の進捗状況と課題について
計画に掲げられた7つの主要施策（①交通安全思想の普及徹底 ②安全運転の確保 ③道路交通環境の整備 ④車両の安全性の確保 ⑤道路交通秩序の維持 ⑥救助・救急活動の充実 ⑦被害者支援の充実と推進）の具体的な進捗状況と、これまでの取組を通じて明らかになった課題について伺う。
 - (2) 奄美市交通安全計画と関連行政計画との整合性と取組方針について
「名瀬交通マスタープラン」や「奄美市都市計画マスタープラン」などの関連計画は、それぞれの計画期間に差異が見られる。また、「奄美市地域公共交通計画」との施策の相互関連性を含め、各計画における道路交通環境整備の取組の位置付けと今後の展開について、市の見解を伺う。
 - (3) 高齢化社会における公共交通と道路整備のあり方について
高齢化が進行する中、市民の日常的な移動手段の確保と公共交通の維持・成立は喫緊の課題である。公共交通網が効果的に機能する基盤とし

て、道路整備をどのような方針や優先順位で進めていくのか、市の基本的な考え方を伺う。

(4) おがみ山バイパス開通後の対応について

おがみ山バイパスの開通により、名瀬市街地の交通動線や交通環境が大きく変化することが予想される。現時点で市としてどのような交通安全上・交通渋滞等の課題を想定し、それらに対してどのような具体的な対策を検討しているのか伺う。

(5) 公共交通における有償旅客対応について

路線バス廃止に伴う「自家用有償旅客運送」の導入に関して、笠利地区および住用地区の現状と課題認識について伺う。あわせて、今年度名瀬地区で実施した公募型プロポーザルの結果について、示せる範囲で伺う。

2 学習指導要領見直しへの対応について

(1) 見直しの方向性と本市の課題について

次期学習指導要領の見直しに向けた国や県の動向に関し、現時点で市が把握している方向性と、本市の教育環境から想定される主な課題は何か。また、それらを踏まえ、教育委員会として今後どのように対応していく方針か、基本的な構えを伺う。

(2) 教職員不足に対する今後の具体的対応について

学習指導要領見直しに伴い指導体制の充実が求められる一方、教職員不足が懸念されている。第2回定例会での「奄美市任期付市費負担教職員の採用、給与及び勤務条件等に関する条例を廃止する条例」の可決を受け、市として今後どのような手立てを講じるのか。他自治体の教職員確保策や代替制度の調査・研究状況、本市への適用可否に関する見解を含めて伺う。未検討の場合は、今後のスケジュール感を示されたい。

3 特別認可校への対応について

(1) 「特別認可校情報交換会」の実施状況について

昨年度から実施している情報交換会について、今年度の実施状況を伺う。

(2) 今後の対応について

情報交換会を通じて新たに明らかになった課題に対し、市として今後どのように対応していく方針か、現時点での基本的な考え方を伺う。

4 奄美市地球温暖化防止活動実行計画について

本計画は、市役所自らの事務事業における取組を定めた「事務事業編」と、市域全体を対象とする「区域施策編」の2編で構成されている。それぞれの進捗と課題について伺う。

(1) 【事務事業編】について

「温暖化対策推進員会議」の進捗状況と、会議内で提示された課題に対する具体的な対策内容を伺う。

(2) 【区域施策編】について

昨年度までの実施状況と課題を示した上で、今年度の具体的な取組内容を伺う。